

指定管理鳥獣捕獲等事業の評価報告書

基本評価シート

様式

(ニホンジカ)

(愛知県 環境局環境政策部自然環境課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	令和6年度指定管理鳥獣捕獲等業務委託（岡崎地区）		
	令和6年度指定管理鳥獣捕獲等業務委託（新城地区）		
	令和6年度指定管理鳥獣捕獲等業務委託（設楽・稲武地区）		
都道府県名	愛知県	担当者部・係名	環境局環境政策部 自然環境課
担当者名	城森、東恩納、中村	担当者連絡先	052-954-6230
捕獲実施事業者	<岡崎地区>・<新城地区> 一般社団法人愛知県猟友会 （認定鳥獣捕獲等事業者）	予算額（※2）	23,134,000 円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	23,134,000 円
	<設楽・稲武地区> 有限会社カネエ工務店 （認定鳥獣捕獲等事業者）		

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
600 頭	242 頭	40.3%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
20,041 頭（令和5年度）	生息数の減少及び 生息密度の低減	10,000 頭（令和8年度）
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
（集計中）頭	（集計中）頭	（集計中）頭

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

令和元年度から指定管理鳥獣捕獲等事業により、個体数調整を実施。

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>農業被害の増加状況、階層ベイズ法に基づく生息数・生息密度を総合的に勘案した上で、個体数調整を強化する必要性のある地域を事業の対象とし、捕獲圧が極めて低い県の鳥獣保護区や県有林等において捕獲を実施する。特定計画においては、生息状況、被害状況等を踏まえて、集中的かつ広域的な管理を図る必要があると認められる地区において、必要に応じて指定管理鳥獣捕獲等事業を実施することとしている。</p> <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置づけも記載する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和6年6月26日～令和7年2月26日
実施区域	<p><岡崎地区></p> <p>シカの生息密度が高い地域であり、これまで捕獲が進んでいなかった鳥獣保護区や特定猟具使用禁止区域において事業を実施した。</p> <p><新城地区></p> <p>シカの生息密度が高い地域であり、これまで捕獲が進んでいなかった県有林等において事業を実施した。</p> <p><設楽・稲武地区></p> <p>シカの生息密度が高い地域であり、これまで捕獲が進んでいなかった鳥獣保護区及び牧場等において事業を実施した。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入</p> <p>※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付【添付図1参照】</p>
関係機関との協力	関係市町村と事業実施場所について調整を行うとともに、情報共有をした。
事業の捕獲目標	$(40.3\% \text{達成}) = (242 \text{ 頭 実績値}) / (600 \text{ 頭 目標値})$
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input checked="" type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※1：各種猟法の定義は〇ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真（捕獲個体の尻尾及び胴部に赤スプレーを塗付）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p>

	<input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：くくりわなは、輪の直径が12 cm以内であり、よりもどしを装着したものを使用させている。） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	猟具の点検やミーティングの実施など、適切な安全管理体制であることを、業務計画書で確認している。
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数：61 人 （内訳） 正規雇用者： - 人、期間雇用者： - 人 日当制： - 人

3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	評価：3地区併せた捕獲数は、目標の40.3%にとどまり、目標に到達しなかったが、2地区では前年度より捕獲数は増加した。
	改善点：より効果的、効率的な捕獲を実施するため、捕獲の時期、場所及び手法について検討する。
【実施期間】	評価：捕獲作業は、全体としては7月～1月の7ヶ月間実施した。
	改善点：捕獲場所によっては、捕獲が困難な時期もあることから、より早期からの事業実施を検討する。
【実施区域】	評価：これまで捕獲が進んでいなかった鳥獣保護区や県有林等において、捕獲を実施した。
	改善点：各地区内での捕獲場所の選定について、事前の調査や情報収集等をより充実させることを検討する。
【捕獲手法】	評価：箱わな、くくりわな、銃猟のうち、各捕獲場所に適した捕獲方法で実施した。設楽・稲武地区では夜間銃猟も実施した。
	改善点：実際の捕獲状況等に応じて、捕獲方法の見直しを行うとともに、夜間銃猟の継続を検討する。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：岡崎地区1班、新城地区4班、設楽・稲武地区1班の体制で捕獲を実施した。
	改善点：特になし。
【個体処分】	評価：計画どおり、焼却、自家消費等により適切に処分した。
	改善点：特になし。
【環境配慮】	評価：銃猟においては、非鉛製銃弾の使用を基本とした。
	改善点：特になし。
【安全管理】	評価：適切な安全管理がとられており、緊急時の連絡体制も適切に整備されていた。事故の発生もなかった。
	改善点：特になし。
3. その他の事項に関する評価及び改善点 特になし。	
4. 全体評価 目標達成率は前年度と比べ減少したが、3地区のうち2地区で、捕獲頭数が増加した。今年度の実績・経験を踏まえて、捕獲の時期、場所、手法及び体制整備等を見直すことで、	

さらなる改善が期待できる。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

県全体の年間の目標捕獲頭数は 6,000 頭以上としている。最低限必要な捕獲数である 6,000 頭のうち、本事業では 242 頭の捕獲を実施し、その割合は約 4.0%であった。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項 目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input checked="" type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報（頭胴長）	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数＝わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。【添付図 2 参照】

（２）実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※¹： 545 人日

事前調査人日数概数※²： 2 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 543 人日

項 目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	543 人日	596 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※¹:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※²:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※¹： 664 人日

事前調査人日数概数※²： 9 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 655 人日

項 目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日 数）	6,059 基日	6,390 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※¹:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※²:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項 目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	193 頭	226 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②目撃数※	5 頭	64 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	0.51 (98／193)	0.58 (132／226)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	0.09 (17／193)	0.04 (10／226)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※巻き狩りを実施時の実績

令和 6 年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※ ¹	CPUE※ ²	SPUE※ ³
<input checked="" type="checkbox"/> 誘引狙撃	184 頭	472 人日	0.39 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	0 頭	29 人日	0 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	0.17 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 夜間銃猟	9 頭	42 人日	0.21 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項 目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	49 頭	34 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	0.65 (32／49)	0.68 (23／34)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	0.16 (8／49)	0.03 (1／34)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和 6 年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	46 頭	5,795 基日	0.008 頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	3 頭	264 基日	0.011 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2:CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： ー 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 221 個体

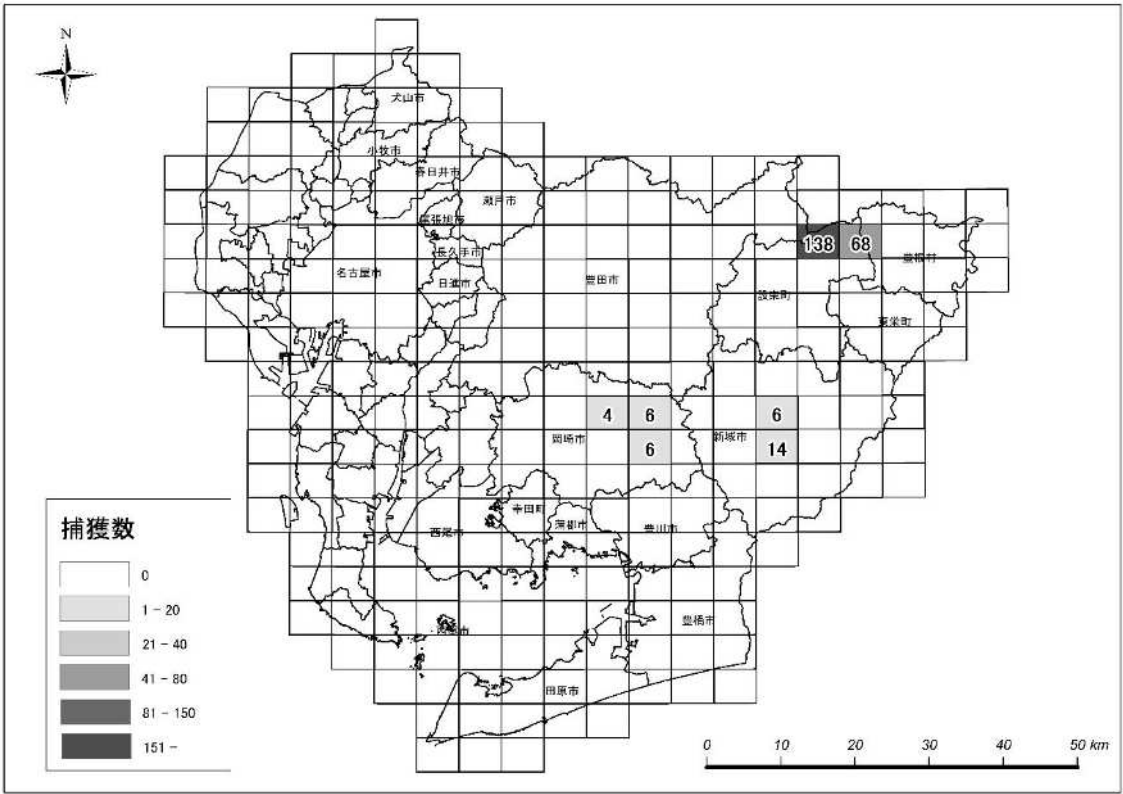
適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

捕獲個体の写真及び尾の提出により捕獲を確認している。

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを経由して、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。

【添付図 2】



捕獲位置図

